

【患者さま用】乳がん術後連携パス 自己チェックシート

■アロマトーセ[®]阻害剤

*症状があれば欄に印を付けて下さい

自己チェック項目																			前後 ヶ月目
副作用	食事が食べれない日が続いている	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	発疹があり、かゆみがある																		
	関節の痛みがある																		
リハビリ	腕があがらないことがある																		
	腕を上げると痛みがある																		
	患側の腕にむくみがある																		
自己検診	手術の傷の周囲に赤み、熱感がある																		
	乳房にしこりがある																		
	乳房の痛みがある																		
	腋の下に固いものがふれる																		
その他																			

【患者さま用】乳がん術後連携パス 自己チェックシート

■タモキシフェン

* 症状があれば欄に印を付けて下さい

自己チェック項目																				術後 ヶ月目
副作用	不正出血がある																			/
	おりものが増え、かゆみがある																			/
	発疹があり、かゆみがある																			/
	体重が()kg/月以上増えた																			/
リハビリ	腕があがらないことがある																			/
	腕を上げると痛みがある																			/
	患側の腕にむくみがある																			/
自己検診	手術の傷の周囲に赤み、熱感がある																			/
	乳房にしこりがある																			/
	乳房の痛みがある																			/
その他	脇の下に固いものがふれる																			/
																				/

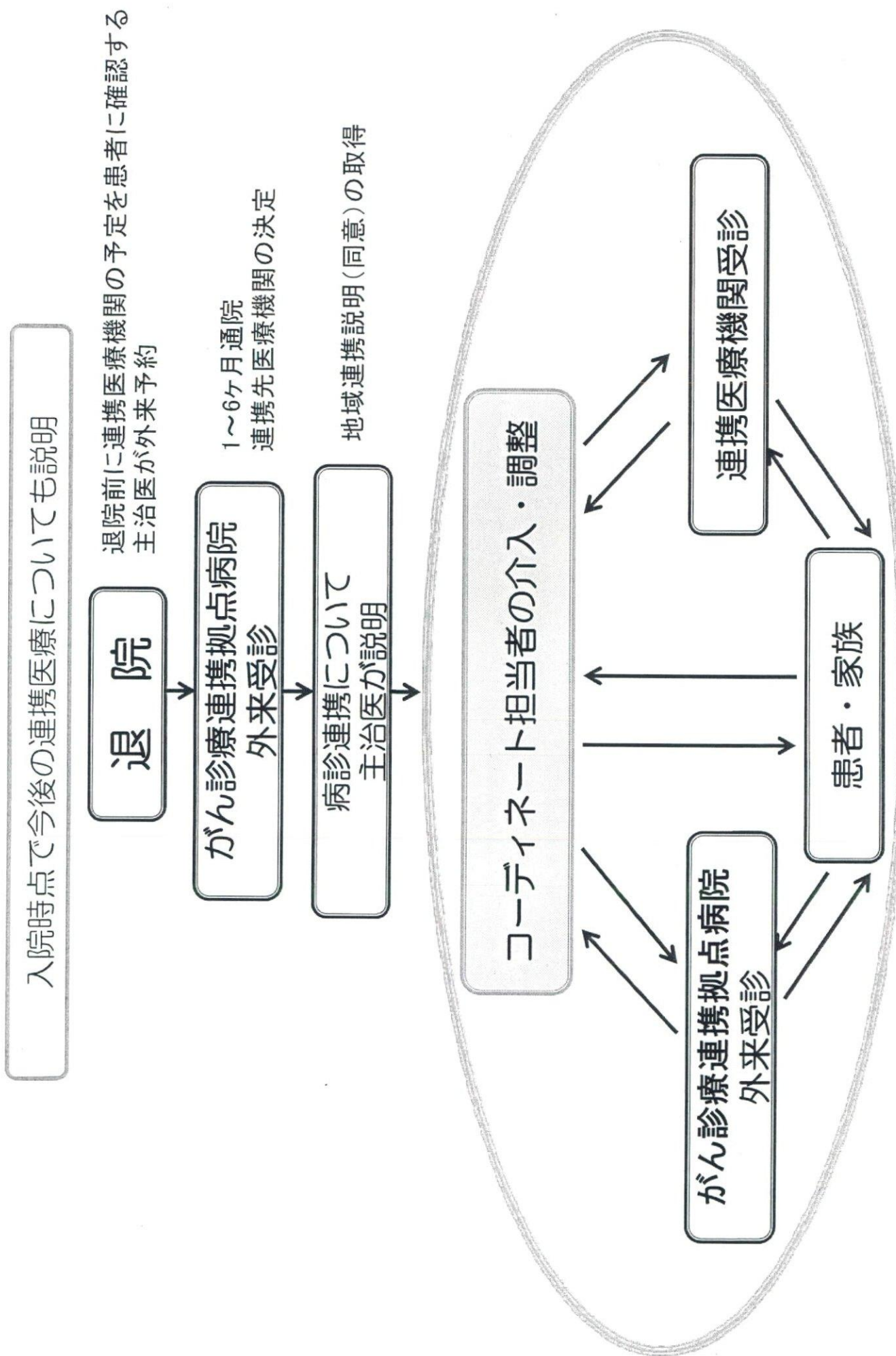
連絡用メモ (気になったことやメッセージ・コメントを共有記録)

対応の緊急性について

1. 現在の方法で満足している
2. それほどひどくないが方法があるなら考えてほしい
3. 我慢できないことがあり、対応してほしい
4. 我慢できない症状がずっと続いている

患者さま・ご家族が記入	医師・看護師・薬剤師が記入
年 月 日 緊急の対応性について (1 2 3 4)	年 月 日
年 月 日 緊急の対応性について (1 2 3 4)	年 月 日
年 月 日 緊急の対応性について (1 2 3 4)	年 月 日
年 月 日 緊急の対応性について (1 2 3 4)	年 月 日
年 月 日 緊急の対応性について (1 2 3 4)	年 月 日

地域医療連携開始にいたるフローチャート



連携医療機関決定後の流れ、用意するもの

連携開始確認後
書類をFAX

地域連携開始連絡



コーディネーター担当者の介入・調整

患者に追加説明
私のカルテの準備

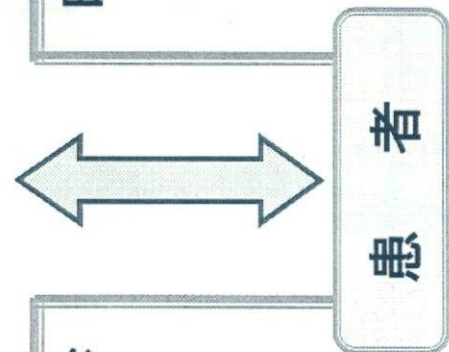


連携医療機関
(かかりつけ医)

連携開始の準備

日常受診

定期受診



書類の記載

1. 説明書(同意書)
2. 診療情報提供書
3. 決定した連携先医療機関の一覧
4. 共同診療計画表
5. 医療者用シート

1. 説明書(同意書)の確認
2. 診療情報提供書の確認
3. 決定した連携先医療機関の一覧の確認
4. 共同診療計画表
5. 医療者用シート

私のカルテを持つ

私のカルテ

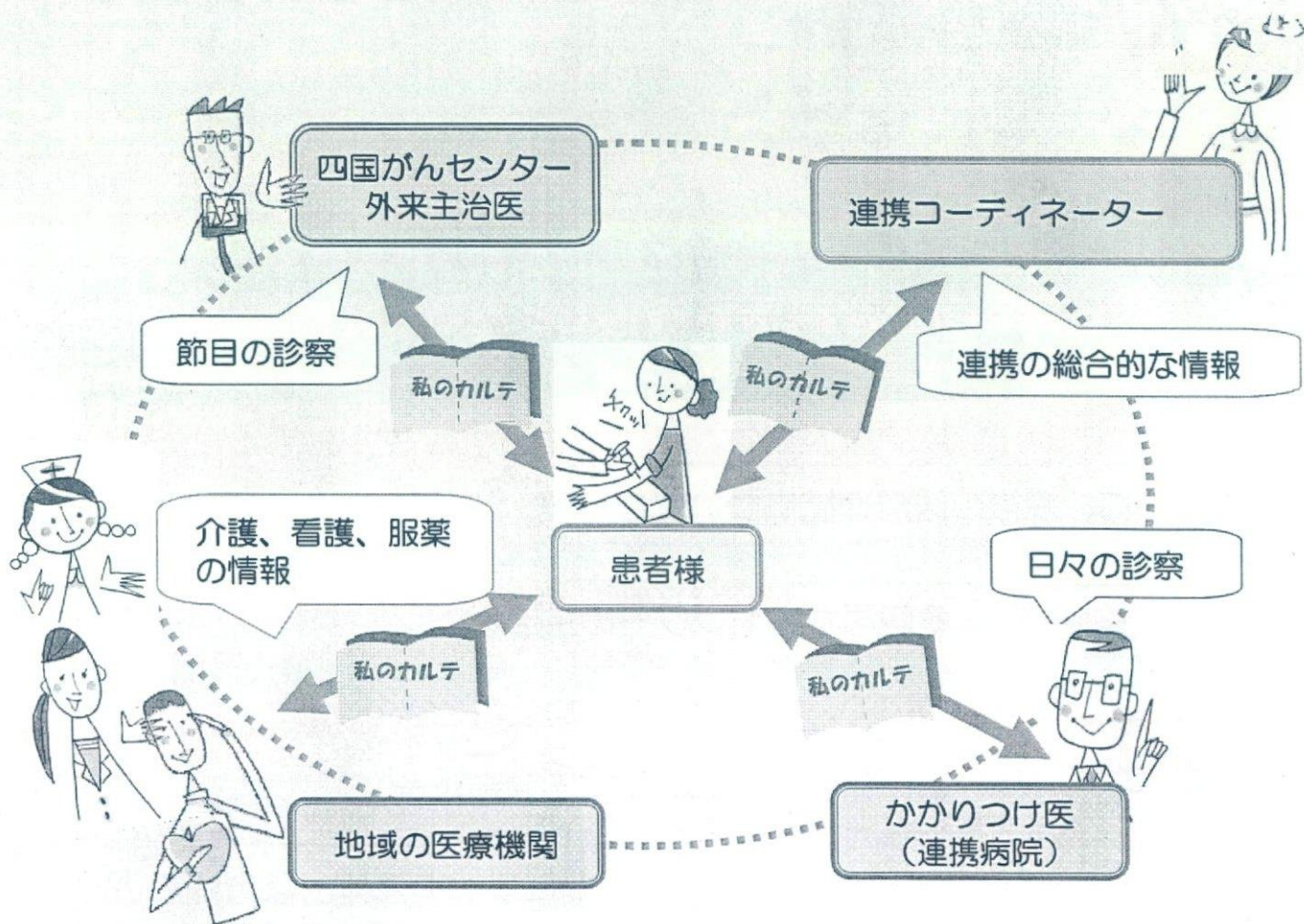
1. 地域連携クリティカルパスについて 説明書(同意書)
3. 具体的に決定した連携先医療機関の一覧と連絡先
4. 共同診療計画表
5. 医療者用シート
6. 知っておきたい私の診療情報
7. 患者用連携パス
8. 自己チェックシート、私の状況・経過(検査データ等も添付)
9. おくすり手帳



あなたを支える 地域連携クリティカルパスの ご案内

独立行政法人国立病院機構
四国がんセンター

病院に通院する人も
近くのかかりつけ医を持ちましょう



地域連携の図

「地域連携」とは、患者様を中心に地域の医療機関と
情報交換を行い、より良い医療と安全を提供する仕組みです。

「地域連携クリティカルパスについて」

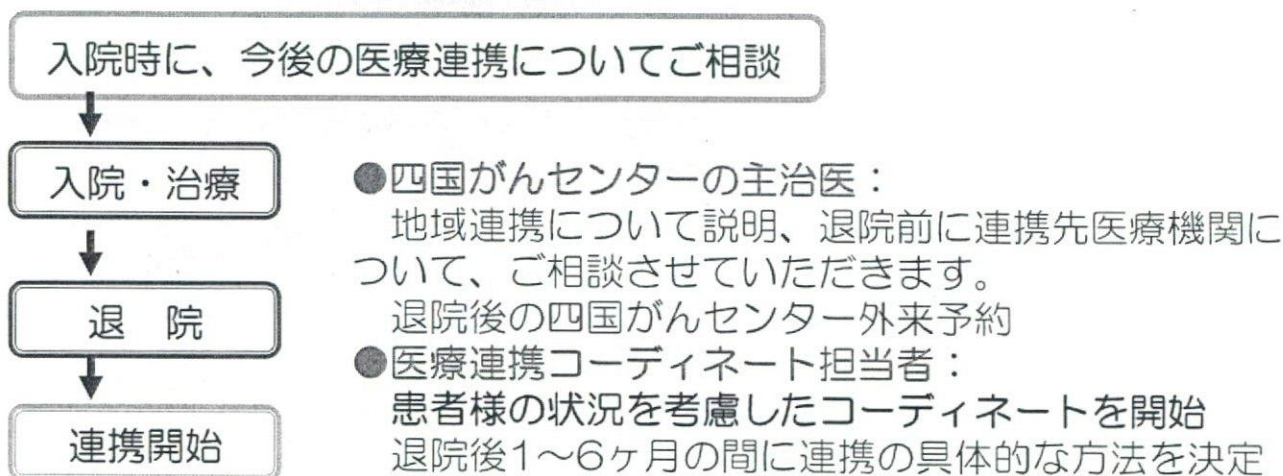


四国がんセンターでは、患者様にわかりやすく安全で質の高い医療を目指して、地域の病院や診療所と協力して「地域連携クリティカルパス」を活用しています。

「地域連携クリティカルパス」は、

- 患者様に納得していただいたうえで
- 患者様も含めて、医師・看護師・薬剤師等が共同で利用できる診療体制、スケジュールを記載した表です。
- 「地域連携クリティカルパス」に基づいて主治医が2人になり、協力して診療を行います。

地域医療連携フローチャート



私のカルテについて



私のカルテは、

自分の身体の状態を2人の医師に知らせるために活用します。
四国がんセンター・かかりつけ医を受診するとき持参して下さい。

私のカルテには

1. 地域連携クリティカルパスの説明書
2. 具体的に決定した連携先医療機関の一覧と連絡先
3. 知っておきたい私の診療情報
4. おくすり手帳、副作用の説明書
5. 自己チェックシート（下記「患者様を書くクリティカルパス」を参考にして下さい）
等が、閉じられています。

「患者様を書くクリティカルパス」



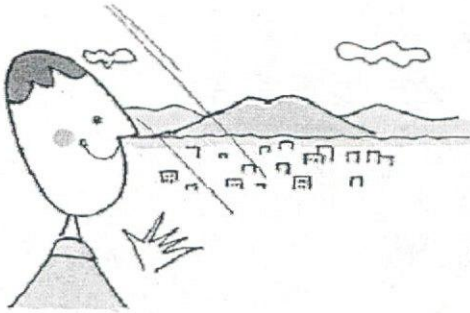
【患者さま用】 乳がん術後連携パス 自己チェックシート

■アロマターゼ阻害剤

* 症状があれば欄に印を付けて下さい

自己チェック項目	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	4ヶ月	5ヶ月	6ヶ月	7ヶ月	8ヶ月	9ヶ月	10ヶ月	11ヶ月	12ヶ月
	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
副作用	食事が食べれない日が続いている											
	発疹があり、かゆみがある											
	関節の痛みがある											
リハビリ	腕があがらないことがある											
	腕を上げると痛みがある											
	患側の腕にむくみがある											
自己検診	手術の傷の周囲に赤み、熱感がある											
	乳房にしこりがある											
	乳房の痛みがある											
	脇の下に固いものがふれる											
その他												

気になるときに、気になることをチェックしましょう



あなたも地域連携クリティカルパスを活用して、
四国がんセンターと近くの病院・診療所の2人の医
師に診てもらいましょう。



ご不明な点やご心配な点があればいつでもご相談ください。

四国がんセンターの連絡先

8:30~17:15 がん相談支援・情報センター
(直通番号) 089-999-1114

17:15~8:30 夜間当直
(代表番号) 089-999-1111

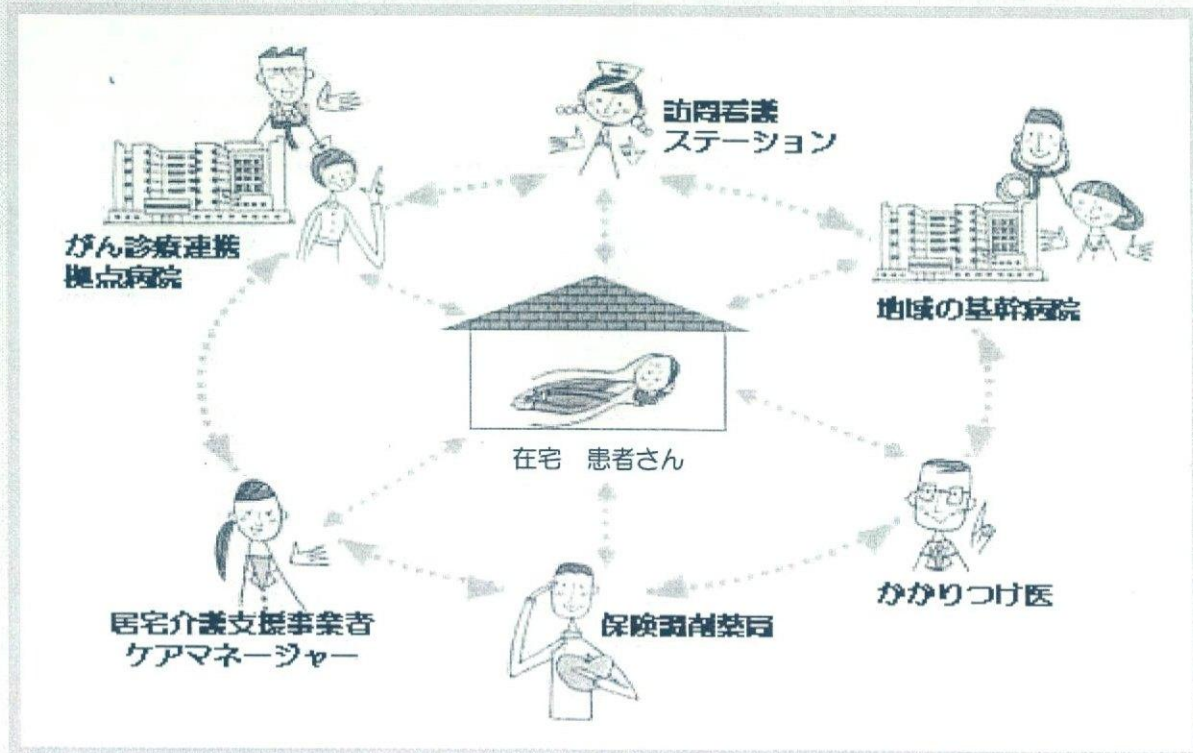


患者さんを支える

地域連携クリティカルパスの概要

独立行政法人国立病院機構
四国がんセンター

病院に通院する患者さんも
近くのかかりつけ医を持ちましょう



「地域連携」とは、患者さんを中心に地域の医療機関と情報交換を行い、より良い医療と安全を提供する仕組みです。

『地域連携診療計画書（地域連携クリティカルパス）』は、関係する医療機関が一緒に作った“診療計画書”のことです。

「診療計画書（クリティカルパス）」



四国がんセンターでは、患者さんにわかりやすく安全で質の高い医療を目指して「診療計画書（クリティカルパス）」を活用しています。

「診療計画書（クリティカルパス）」では、

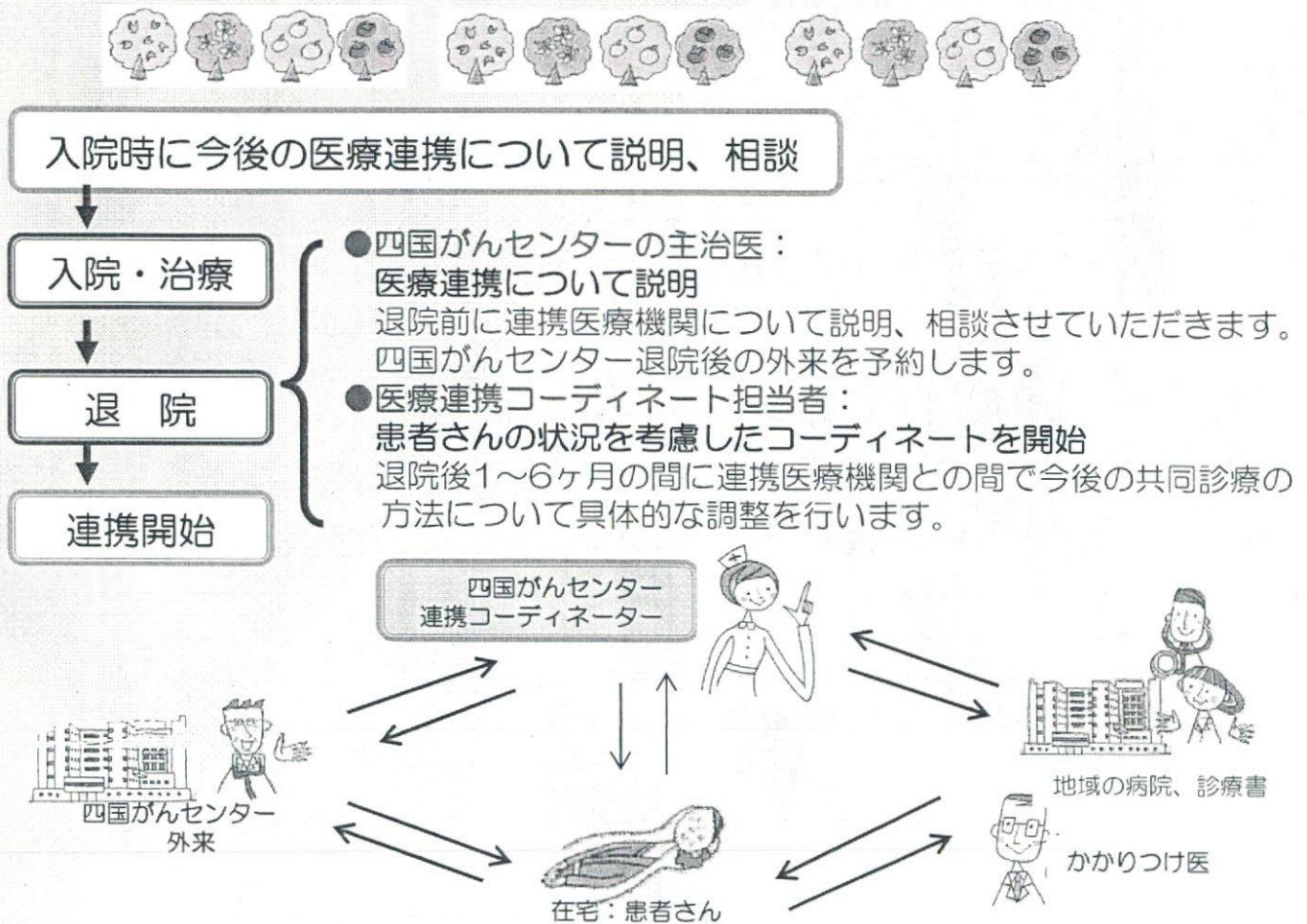
- その病気の経過を予測して、ベストの診療の計画を立て、
- 患者さんに納得していただいたうえで
- 医師・看護師・薬剤師等が協力して診療にあたります。
- 診療の方針について、患者さんと医療者が共同で利用できる形に表わしたものが「診療計画書（クリティカルパス）」です。

現在、四国がんセンターに入院される患者さんの半数の方に使っていただいています。

クリティカルパスの例

月日	/	/	/	/	/	/	/	/	/
病日	入院時	手術前日	手術当日(前)	手術当日(後)	術後1日目	術後2～3日目	術後4～7日目	術後8～13日目	術後14日目以降
食事	食事ができます	21時から絶食です					4日目から飲水可能です 5日目より治療食が開始となります	状態に合わせて次第に普通食になりますが分割食になります	
安静度	自由です	13時頃に車椅子で手術室に行きます	13時頃に手術室に行きます	手術後は集中治療室で面会可能です	身体をどンドン動かしましょう	自由です			
排泄	自由です			尿管が入っています 便はベッド上で取ります			尿管を抜きトイレに行けます	自由です	
清潔	自由です	場合によりシャワーにすることがあります	手術着に着替えます	看護師が身体を拭きます 着替えもします	許可があればシャワー可能です				
検査			6時頃に採血をします	採血やレントゲンの検査をします			4日目と6日目に採血をします	13日目に採血をします	
検温	入院時に体温と血圧を測ります	10時に体温と血圧を測ります	10時と手術前に体温と血圧を測ります	1～2時間ごとに体温と血圧を測ります	2時、6時、10時、14時、18時、22時に体温と血圧を測ります	6時、10時、19時に血圧と体温を測ります		10時、19時に血圧と体温を測ります	10時に血圧と体温を測ります
内服・点滴		21時に下剤の内服があります	6時頃から点滴を行います	24時間持続で点滴を行います			食事摂取の状態により点滴が減ります		
治療・処置	術後肺炎予防のために禁煙してください	除毛を行うことがあります	血圧予防のために弾性ストッキングをはきます	麻酔の際に痛み止めの管を背中に入れます		2日目にフィルム材を貼ります	5日目に痛み止めの管を抜きます 7日目に抜糸します		
説明	手術の必要物品等の説明をします	主治医が手術や麻酔について説明をします	手術室の看護師が手術前後の説明をします	手術後に家族の方へ説明があります	痰を出すために吸入をします	薬剤師からお薬について説明があります		病理組織の説明をします	
備考	お薬の問診表を提出して下さい	手術までに承諾書を提出して下さい			病棟のお部屋に戻ります		栄養士から食事について説明があります		調子がよければ退院可能となります

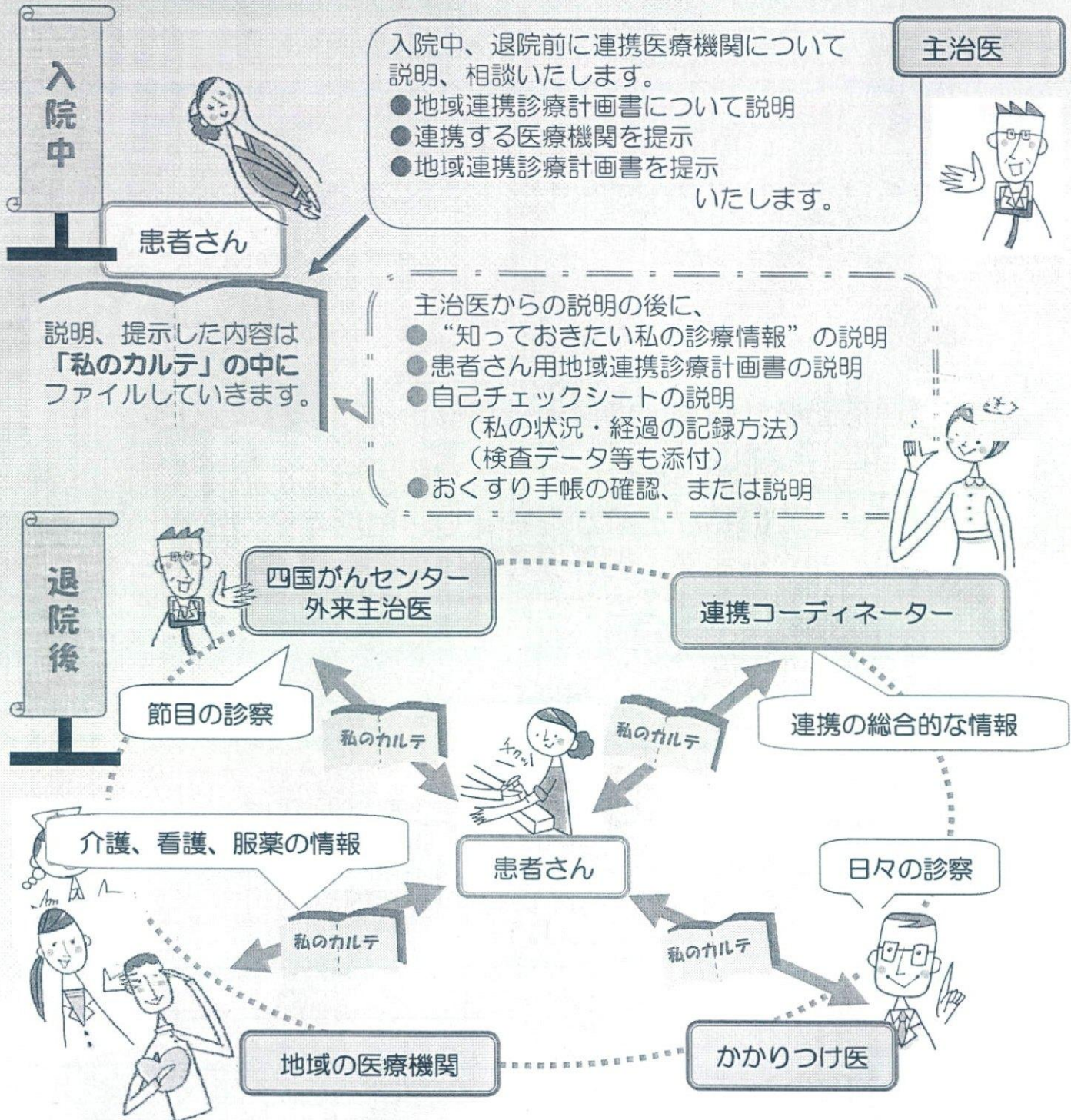
地域医療連携フローチャート



具体的な地域医療連携

- 治療開始後の落ち着いた時点
(およそ退院1～6ヶ月後)から
- かかりつけ医(地域の病院、診療所)が日々の診察
(2週間から1ヶ月に1度)と、投薬(処方)を担当し、
- 当院が節目(3～12ヶ月ごと)の診察・検査を行います。
- 病状が変わった時や、副作用が強い時などに備え、
夜間休日にも安心できるような連携の体制を作ります。

「私のカルテ」の使い方



各医療機関を受診されるときは「私のカルテ」の携帯をお願いいたします。

- 連携する各医療機関は、
- 診察時・ご相談時の内容を全て「私のカルテ」に追加していきます。
 - 患者さんの状態や思いは「私のカルテ」を通して情報交換を行います。

「地域連携診療計画書（地域連携クリティカルパス）」の利点

「地域連携診療計画書（地域連携クリティカルパス）」は、患者さんの主治医が複数になると考えることができます。

- ・異常の早期発見や、きめ細かな対応が望める
- ・病院や診療所の混雑が解消される効果も望めるでしょう。

この地域連携診療計画書を利用することで、患者さんやご家族のお話をもっとお聞きできるようになるものと考えています。



地域連携診療計画書（地域連携クリティカルパス）」の利用

私たちは、地域連携診療計画書が患者さんの療養生活や診療の方針に合っているかどうかを吟味し、利用する方が良いと考えた場合にお勧めします。関係する医療機関、患者さんやご家族と相談しながら運用をすすめます。変更・中止の申し出にも応じます。



利用する地域連携診療計画書は「
」です。

患者さんに関わる医療機関等は

■ _____ .
■ _____ .
■ _____ .

です。

連携医療機関等からの問い合わせは以下にお願いします。ご不明な点はいつでも連絡ください。

四国がんセンターがん相談支援・情報センター
(直通番号) 089-999-1114
(代表番号) 089-999-1111

平成20年11月吉日

先生各位

愛媛県がん診療連携協議会長 高嶋成光

がんにおける病診連携に関するアンケート調査について

秋涼の候、みなさまにはご健勝のことと存じ上げます。

さて、地域連携クリティカルパスが最近、地域連携ツールとして注目されています。地域連携クリティカルパスとは疾病別・処置別に、病病、病診間で作成する医療連携ツールです。この地域連携クリティカルパスは診療報酬改定の中で、大腿骨頭骨折、脳卒中に適応が認められ、新しい地域医療計画にも明記されています。がん領域の地域連携クリティカルパスについては、厚労省のがん対策推進基本計画の中で「5年以内に5大がんについて地域連携クリティカルパスを作成する」ことが決定されています。

こうした事情をかんがみて、このたび愛媛県がん診療連携協議会（県拠点として四国がんセンター、地域拠点として住友別子病院、済生会今治病院、愛媛大学附属病院、愛媛県立中央病院、松山赤十字病院、市立宇和島病院の7施設）では愛媛県版のがん地域連携クリティカルパス開発を開始しました。この機会にぜひ胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、肝がん等においても地域連携クリティカルパスによる診療ネットワークを構築していきたいと考えております。

その取り組みの一貫として、愛媛県下の医療機関におけるがん診療についてアンケート調査を企画いたしました。

本趣旨をご理解の上、別添のアンケート用紙にご記入の上、11月20日までに、同封の返信封筒にてご返送いただくと幸いです。

今回のアンケート集計結果は医療施設名を匿名化の上、愛媛県がん診療連携協議会、クリティカルパス研究開発報告会および関連の学会誌、医師会報等に報告させていただきます。また愛媛県医師会、愛媛県がん診療連携協議会で共有し、末尾の質問に記名回答いただいた施設には今後の連携パス勉強会、講演会等を案内させていただきます。

日常診療ご多忙のところ誠に恐縮ですが、何卒よろしくご協力を賜りますようお願い申し上げます。

本アンケートに関するお問い合わせは下記までお願いします。
〒7911280 松山市南梅本町甲160番地
四国がんセンター管理課（がん診療連携協議会事務局）
電話番号 089-999-1111 FAX 089-999-1100

平成20年11月

愛媛県医師会会員各位

愛媛県医師会長 久野 梧郎

愛媛県がん診療連携協議会が実施する「がんにおける病診連携
に関するアンケート調査」について

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび愛媛県がん診療連携協議会長から本会に対して、愛媛県医師会員を対象に「がんにおける病診連携に関するアンケート調査」を実施したい旨の協議がありました。

愛媛県がん診療連携協議会は、がん対策推進基本計画に関連して、厚生労働省通知に基づいて設定されているもので、国が指定した県内のがん拠点病院並びに関係機関で組織されており、本会もこの協議会に参画しています。

この愛媛県がん診療連携協議会の中で、がん診療の連携体制の構築についての検討が開始されていますが、今回のアンケートは、その取り組みの一貫として企画されたものです。

会員の先生方におかれましては、ご多忙のところ恐縮ですが、何卒ご協力を賜りますようお願いいたします。